

4月、本とともに

ほん こえ
本の声が
聞こえますか？

みやた こどものみなさん、入学、進級おめでとうございます。75人のかわいい1年生をむかえて、新年度がスタートしました。新しい先生や友だちとの出会いに、ときどきしたり、わくわくしたりした人もいるでしょう。

図書室には、たくさんの本があります。たくさんの人々に読んでもらえる人気者の本もありますが、ずっと本だから外に出ないまま1年間すぎてしまう本もあります。「だれか、かりてくれないかなあ」とか「読んでもらえたらうれしいな」とか、そんな本の心の声が聞こえます。

本も、みなさんの友だちです。図書室の本は、いつもみんながかりてくれるのを待っています。ちょっとこわくてときどきする本、おもしろくて笑顔になれる本など、1さつの本が、いろいろな気持ちにさせてくれます。今年度も、たくさんの本を読んでくださいね。

「子ども読書の日」を知っていますか？

4月23日は、「子ども読書の日」(2001年に定められました)です。

子どもたちにもっと本を読む楽しさを知つてほしいとの願いから、「子どもの読書週間」が1959年が始まりました。

子ども読書週間は、
4月23日～5月12日(3週間)です。

図書室からのお願い

今までみなさんが返却(返した)した本は、先生や図書委員、掃除当番の3年生が本だなに返していましたが、今年度からは、返却の手続きをしたら、第2図書室の本は、自分で本だなに返します。協力してください。お願いします。

このお話を、本当にあつた
出来事をもとにした本です。
病気で目が見えなくなつたおじ
さんが、小学生に助けられる
がら、バスで通勤するお話で
す。「バスが来ましたよ」と声をか
けて手を貸す小学生の、小さ
な親切の物語です。読んだ
あと、心が温かくなりますよ。

『バスが来ましたよ』(由美村嬉々)

